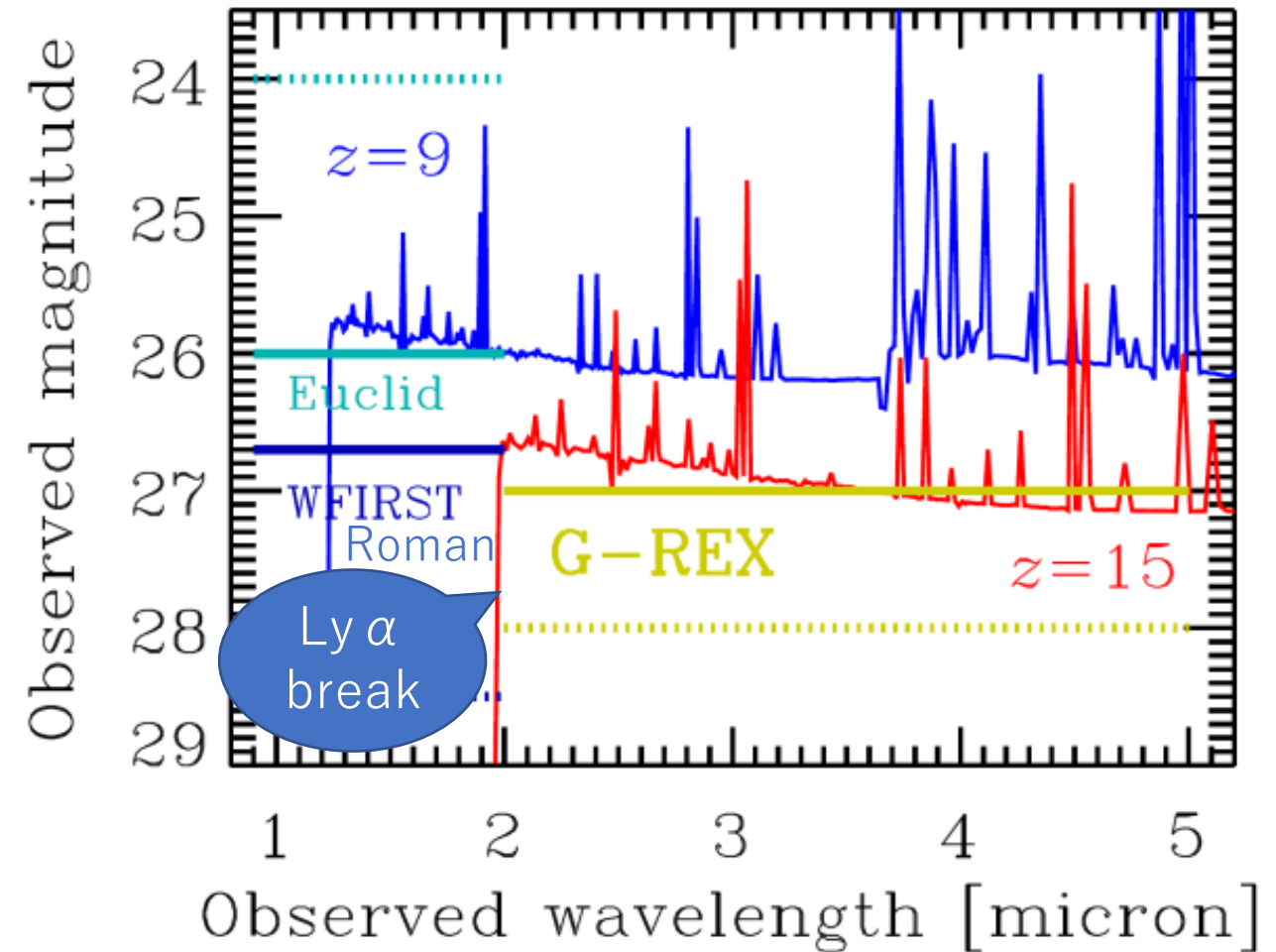


初代銀河探査機G-REX Galaxy and Reionization EXplorer

観測波長2--3ミクロン以上で広視野探査を実現する世界で唯一の計画

- 静止系Ly α 線(0.1216 μm)未満の放射は銀河間中性水素による強い減光で観測不可能
 - Ly α break
- 赤方偏移 $z > 15$ の「初代銀河」を直接観測し、銀河形成過程を解明
- 現在から赤方偏移 $z \sim 8$ の時代まで、「銀河系の100分の1」の恒星質量をもつ銀河までを網羅し、銀河の成長過程を解明
- 波長2--3ミクロン以上の超広域撮像データによるさまざまなサイエンス



RG活動(2020年度)

- 1月 理学委員会Research Group承認
- 1月27日 米国訪問準備ミーティング
- 2月9日ー15日 米国訪問(実体)
 - アリゾナ大学、ハーバード・スミソニアンの研究者と会合
- 2月24日 第1回RGミーティング
- 3月31日 Gopira 2030 White paper 提出
- 4月11日 第2回RGミーティング
- 5月9日 第3回RGミーティング
- 5月15日 Gopira 2030 White paper 改訂版提出
- 7月22日 第4回RGミーティング
- 9月16日 番外RGミーティング
- 9月17日 光赤天連シンポジウム講演
 - Gopira 2030 White Paper 評価
 - 日本主導の計画では4件中1位
 - 科学価値/費用では最高評価
- 9月29日 第5回RGミーティング
- 10月5ー9日 Roman conference参加
発表
- 10月下旬 科研費申請
- 10月27日 第6回RGミーティング
- 12月11日 第7回RGミーティング
- 12月23日 番外RGミーティング
- 1月6日 宇宙科学シンポジウム発表
- 1月14日 第8回RGミーティング
- 3月24-25日 サイエンス検討会開催